

新潟県剣道連盟会報

第 93 号

平成 25 年 12 月 10 日

発行

新潟県剣道連盟

事務局 〒950-0916

新潟市中央区米山 5 丁目 1-25

小林ビル 4 階

TEL 025-244-3481

FAX 025-244-3482

☆ 定例理事会

8月17日(土)午後1時から、新潟市ユニゾンプラザにて定例の理事会を開催しました。

- 1、開会宣言・木村嘉靖事務局長代行
- 2、会長挨拶・齋藤 榮会長
- 3、議長選出・齋藤 榮会長
- 4、議事録署名人選出 渡邊・上谷
- 5、議案審議

第1号議案

- ・一般財団法人新潟県剣道連盟定款(修正案)及び規程関係(案)
- ・役員選出・選考規程(修正案)
- ・退職金規程(新規案)
- ・最初の評議員選定委員会名簿及び各加盟団体への新評議員の推薦依頼について(案)
- ・居合道部会規程(案)
- ・杖道部会規程(案)

※決議承認し、12月臨時総会に提案する。

第2号議案

- 平成25年度有効賞
- 剣道有功賞、少年剣道教育奨励賞
- ※県連としては個人1名、団体4団を全日本剣道連盟に推薦する。

第3号議案

- ・主催・共催・後援大会の助成金の

見直しについて(案)

助成金は来年度から、県剣連主催及び共催大会のみとする。(承認)

第4号議案

・県女子剣道講習会の開催場所の見直しについて(案)

上越市固定から長岡市、新潟市の持回り実施とする。(承認)

第5号議案

・剣道初級講習会新規開催案の実施有無について

来年度実施は見送りとする。(承認)

第6号議案

・加盟団体の脱退及び統合。編入について(案)

来年度から浦川原剣道連盟が脱退し、上越市剣道連盟へ統合・編入する。(承認)

第7号議案

・県剣連事務局体制について(案)

木村嘉靖事務局長代理が局長に、また、上野健一(新潟市)が新局員になることに同意した。

第8号議案

・12月理事会及び臨時総会日程(案)

その他

- ・専門委員長からの報告
- 7、閉会宣言・木村事務局長

☆ 平成25年度全剣連表彰

・11月3日(日)全剣連臨時理事会において前記、県剣連から推薦された個人及び団体が受賞した。

剣道有効賞

長谷川 武二

上越市剣道連盟・高田修道館顧問

少年剣道教育奨励賞

- ・劍柳会スポーツ少年団(魚沼市)
- ・新潟山田剣士会(新潟市)
- ・大形剣道教室(新潟市)
- ・二見剣士会(佐渡市)

☆ 各種講習会の報告

①全剣連関係

第40回社会体育指導員中級更新講習会
更新 佐藤 仁(新潟市)

第63回社会体育指導員初級更新講習会
更新 佐藤三智子(新潟市)

②県内関係

全剣連後援剣道指導者講習会

10月19日(土) 20日(日)

新潟市黒埼総合体育館

講師 田口 榮治範士八段(東京)

水田 重則教士八段(茨城)

一日目は、審査員を対象に「審判法講義及び審判実技(県警特練生・新潟大学生による模擬試合)」、「日本剣道形」「基本技の指導法」等の実践的な実技指導をいただき、一層の技能向上を図ることができました。

二日目は、妙高・佐渡など各地から受講生90名の参加を得て、「幼少年を剣道指導する上での効果的な手立て」の講話や「指導法」の実技を中心に実施しました。指導者として自分自身身に付けなければならない基本技の習得に大変役立ち、大好評でした。

二日間、両講師の重厚かつ華麗な示範には、感嘆しきりでありました。

報告 小杉 耐三(審査・講習委員会)



☆ 各種大会の報告

第44回全国高等学校定時制通信剣道大会

8月5日(月) 日本武道館

男子団体戦予選リーグ

新 潟 3-0 福 岡

新 潟 4-1 埼玉 B

※1位で予選通過

決勝トーナメント準々決勝

新 潟 1-3 神奈川 A

報告 宮田 和寛(男子監督)

女子団体戦予選リーグ

新 潟 2-0 神奈川 B
新 潟 3-0 栃 木

※1位で予選通過

決勝トーナメント準々決勝
新 潟 2-1 東 京 A

準決勝

新 潟 3-0 大 阪

決勝

新 潟 1-1 埼 玉

(代表決定戦で惜敗)

準優勝 新潟県

女子個人戦準々決勝

大矢 清歌(出雲崎高)

報告 石井 輝彦(女子監督)

第60回全国高校剣道大会

8月6日(火)〜9日(木) 佐賀市

男子団体戦予選リーグ

新潟明訓 1-2 和歌山東(和歌山)

新潟明訓 2-1 帝京第五(愛 媛)

※決勝トーナメント進出ならず

女子団体予選戦予選リーグ

新潟商業 3-0 流 山(千葉)

新潟商業 3-0 白 石(佐賀)

女子決勝トーナメント

1 回戦 新潟商業 2-1 東奥義塾(青森)

準々決勝

新潟商業 1-2 麗澤瑞浪(岐阜)

個人戦男子の部

1 回戦 江口 脩哉(新潟商) 惜敗

2 回戦 井上謙二郎(新潟第一)

惜敗

個人戦女子の部

1 回戦

熊谷 真純(新潟商) 惜敗

3 回戦

大塩 綾子(新潟商) 惜敗

第55回全国教職員剣道大会

8月12日(月) 和歌山県

団体戦

先鋒 吉原 祐輔(帝京長岡高)

次鋒 三本 雄樹(巻北小)

中堅 石井 輝彦(出雲崎高)

副将 高橋 直志(帝京長岡高)

大将 直原 幹(上教大付属小)

※1回戦高知県に0-2で惜敗

個人戦

高・大・教委の部

池川 茂樹(上教大) 1回戦惜敗

幼・義務教育の部

山崎 陽輝(五泉特支) 1回戦惜敗

女子の部

相場のしぶ(三条東) 1回戦惜敗

第38回新潟県少年少女剣道大会

8月18日(日) 新潟市体育館

小学生低学年女子の部

優 勝 新潟市剣道連盟 A

準優勝 上越市剣道連盟 A

3 位 新潟市剣道連盟 C

新潟市剣道連盟 B

小学生高学年女子の部

優 勝 新潟市剣道連盟 A

準優勝 中之島剣道会

3 位 燕剣道連盟

新潟市剣道連盟 B

小学生高学年男子の部

優 勝 新潟市剣道連盟 B

準優勝 魚沼市剣道連盟

3 位 上越市剣道連盟 B

五泉市剣道連盟

中学生女子の部

優 勝 新潟市剣道連盟 A

準優勝 上越市剣道連盟 A

3 位 小須戸剣道連盟

新潟市剣道連盟 B

中学生男子の部

優 勝 新潟市剣道連盟 A

準優勝 三島剣道連盟

3 位 中之島剣道会

新潟市剣道連盟 C

総合優勝 新潟市剣道連盟

第43回全国中学校剣道大会

8月17日(土)〜19日(月) 静岡県浜松市

男子団体・小池中学校

予選リーグ

小池 2-0 老司中(福岡)

小池 2-0 秋田北中(秋田)

決勝トーナメント

1 回戦 ・小池 3-2 久御山中(京都)

準々決勝 ・小池 0-3 国士館中(東京)

準々決勝 ・小池 0-3 国士館中(東京)

※小池中は県勢男子で33年ぶり5位入賞を果たした。

男子個人戦

小崎 悠貴(本丸中) 3回戦惜敗

相場 凌(小池中) 1回戦惜敗

【監督観戦記】

予選リーグ1試合目は、昨年ベスト

予選リーグ

8の福岡老司中と対戦、先鋒・中堅がポイントし初戦を勝利しました。2戦目は1年生がメンバーで2年後の全中開催に向けて強化している秋田県代表の秋田北中でしたが、これも次鋒・中堅が活躍し予選1位で通過しました。2試合とも相手に攻め勝ち、崩れない剣道ができたことが勝因だと思います。

決勝トーナメント1回戦は、近畿ブロックで優勝した京都代表久御山中と対戦となりました。先鋒が落とすも次鋒・中堅で盛り返し副将で取り返されるといった接戦で大將戦・延長に入り、相手が不用意に面に来た瞬間を捉えた小手で8強入りを決めました。

最終日、準々決勝は練習試合でも負け越している強豪国士館中でした。戦前予測では、先鋒・次鋒が中心を攻めきって小池中の剣道をやりきれぬかが鍵かと思っていました。

しかし、試合が始まると相手の攻めと気迫に押されて逃げ技が多くなり、先鋒から中堅まですべて延長で惜敗し、戦攻めの剣道ができず残念な結果となりました。

全国大会で上位に進むには、相手に気迫で勝ち、技前を制し最後まで攻められる強い精神力が必要になります。これからも中体連剣道部では、本大会で得た教訓を生かし県全体の中学生強化を図って行きたいと思えます。

女子団体・燕中学校 報告 堀田秀浩

予選リーグ

燕 3-0 久御山中(京都)

燕3-0白鳥中 (岐阜)
決勝トーナメント

1回戦・燕5-0浦添中 (沖縄)
2回戦・燕2-2三瀬中 (佐賀)

※惜しくも本数負けで4連覇ならず
5位入賞

女子個人戦

山中 秋乃 (小針中) 1回戦惜敗
小川梨々香 (燕 中) 2回戦惜敗

【監督観戦記】

女子団体では、予選リーグから優勝候補の一角で平成21年優勝校の京都久御山中との厳しい初戦となりました。しかし、先鋒、次鋒、中堅と連取の圧勝で強敵を退けました。続く2戦目も初戦同様3-0で勝利し、予選リーグを1位で通過することができました。決勝トーナメント戦の初戦は、「打倒！燕・4連覇阻止！」に燃える九州勢の一角、沖繩浦添中との対戦となりましたが、勢いに乗る燕中は5-0の完勝で「全国8強」入りを決め2日目を終えました。

大会3日目最終日、準々決勝の相手は、名將の佐賀県・江島良介先生率いる三瀬中で、過去三度の優勝経験のある実力校となりました。ちなみに今年度の練習試合での対戦成績は、僅差ながら五戦五勝と勝利しておりました。しかし、この日の三瀬中は「打倒！燕」を合言葉に、今までとは違う執念と気迫が感じられました。試合は予想通りの大接戦となり、先鋒の土田由貴 (2年) が引き分け、次鋒の相場葵 (1年) からポイントを取り、先攻した

かったがまさかの敗北。中堅の近藤智穂 (2年) が相場の敗北に冷静さを欠き2本負け。中堅までに2-0とリードされて後半戦に勝負が託されました。

瀬戸際の副将・川俣萌華 (2年) が延長に入り「執念の一本」を決めて、大将の小川梨々香 (2年) に望みを繋ぎました。大将戦は、開始早々に小川が面を決め、何とかこのままで行けば相手チームに追いつくかに思われましたが、中盤に慌てて「もう一本」を取りに行くところを拾われてしまいました。結局、大将戦は2-1で勝利したものの本数が一本だけ及ばず、無念の敗退となりました。

大会を振り返りますと1・2年生の選手が中心となって臨んだ本大会でありましたが、やはり原理・原則的な技術の徹底がなされなまま、その場凌ぎの勝ちを重ねてきてしまった結果となりました。この貴重な体験を生かし、選手全員が在校する来年度の全中大会では、「王座奪還！」を選手皆で心に誓いながら会場を後にしてまいりました。

大会参加に際し、ご支援・ご協力をいただきました。また、県剣道連盟の皆様を始め、地元、燕市剣道連盟の先生方のご期待に添えることができず、誠に残念な気持ちでおります。この場をお借りして、心から御礼を申し上げます。

大変ありがとうございました。今後とも燕中学校剣道部にご指導とご鞭撻のほど何卒よろしく願います。

報告 堀田 正秀

第42回新潟県剣道高段者大会 9月1日(日) 黒埼総合体育館

【七段の部拜見試合】

渡辺 希一 (柏崎)	宮下 茂 (糸魚川)
岡田 裕 (柏崎)	廣川 和男 (新潟市)
鈴木 和彦 (新発田)	和田 映 (小千谷)
西潟 敏夫 (南魚沼)	田村 克也 (魚沼)
藤井 紳一 (五泉)	長谷川 敏 (新発田)
直原 幹 (上越)	佐藤 好美 (県警)
大濱 克 (上越)	堀 伊佐緒 (新潟市)
久保田幸正 (上越)	山田 茂 (新潟市)
遠山 正宣 (県警)	堀 伊佐緒 (新潟市)
木原 眸 (上越)	望月 憲一 (県警)

【六段の部】

先鋒 渡辺 直司 (長岡)	川嶋 芳行 (県警)
次鋒 水野 竜弥 (阿賀野)	上谷 貴洋 (長岡)
39将 小林 剛 (三島)	小幡 武夫 (長岡)
38将 中村 茂樹 (新潟)	天井 俊明 (五泉)
37将 大岩 裕志 (長岡)	中村 淳 (三島)
36将 小浦方秀樹 (栃尾)	田沢 宏一 (小須戸)
35将 鈴木千代子 (新潟市)	齋藤キミ子 (新潟市)
34将 小林 正明 (燕)	天井 俊明 (五泉)
33将 上野 健一 (新潟市)	今井英一郎 (新潟市)
32将 川上登與次 (阿賀野)	齋藤 隆夫 (新潟市)
31将 高野 久雄 (新潟市)	帆苅 達郎 (五泉)
30将 五十嵐 忠 (新潟市)	立川 晨生 (燕)

【七段の部】

29将 藤塚 衛 (新潟市)	宮田 和寛 (上越)
28将 桑原 秀典 (津南)	柳 幸一 (十日町)
27将 三河 隆 (三島)	柴田 直樹 (長岡)
26将 高嶋 純一 (上越)	村井 豊 (小須戸)
25将 梅津 孝昭 (県警)	高橋 栄一 (新潟市)
24将 樋口 秀夫 (十日町)	高橋 栄一 (新潟市)
23将 細貝 秀幸 (小千谷)	直原 幹 (上越)

(◎)優秀選手賞、○優秀試合者賞

22将	田中 純一 (三島)	メ	コ	佐藤 治彦 (西蒲)
21将	浜田 尚 (新潟市)	メ	メド	南雲 繁治 (南魚沼)
20将	山口 雄二 (新潟市)	メ	メコ	小古瀬竹起 (三島)
19将	佐藤 仁 (新潟市)	◎	コ	木村 嘉靖 (県警)
18将	瀬賀 忠治 (県警)	×	×	大竹 和男 (長岡)
17将	八木 和徳 (新潟市)	×	×	大橋 正男 (長岡)
16将	松田富士夫 (長岡)	コ	×	江村 兵平 (豊栄)
15将	北野 洋一 (新潟市)	ド	コ	品田 峯雄 (柏崎)
14将	小柳 政治 (新潟市)	×	×	児玉 健 (佐渡)
13将	加藤 治 (学校)	コ	◎	佐藤 弘則 (栃尾)
12将	伊藤 文博 (糸魚川)	○	×	渡辺 久雄 (長岡)
11将	齊藤 博司 (新発田)	×	×	澤見 幸夫 (佐渡)
10将	小泉 一義 (県警)	メ	×	田川 正幸 (十日町)
9将	佐藤 登 (豊栄)	×	×	上谷 洋二 (長岡)
8将	小川 清広 (上越市)	メ	×	西村 芳雄 (燕)
7将	小杉 耐三 (新潟市)	×	×	青山 勲 (上越)
6将	風間 良一 (新潟市)	ド	コ	吉田 賢一 (燕)
5将	鈴木 喜一 (阿賀野)	×	×	齋藤 朝男 (県警)
4将	若林 秀旭 (五泉)	コ	◎	亀倉 弘義 (長岡)
3将	田中 茂 (県警)	コ	メ	高橋 守 (上越)
副将	皆川 昶 (新潟市)	×	×	樋口 耕作 (新潟市)
大将	星名 四郎 (十日町)	×	×	藤田 惣松 (新潟市)

優勝 西軍 12勝

優秀選手賞8名(選考委員 白井吉満・山田義雄・渡邊幹雄)

- 川上登與治(阿賀野) 田沢 広一(小須戸)
- 風間 裕輔(小須戸) 小古瀬竹起(三島)
- 佐藤 仁(新潟市) 佐藤 弘則(栃尾)
- 亀倉 弘義(長岡) 高橋 守(上越)

優秀試合者賞 1組

- 12将 伊藤 文博(糸魚川) 対 渡辺 久雄(長岡)

平成25年度新潟県剣道選手権大会兼第61回全日本剣道選手権大会県予選会

9月1日(日) 黒埼総合体育館
 優勝 木村 友哉(新潟市)
 準優勝 廣瀬 欽一(県警)
 3位 箱田 優(県警)
 吉田 新(白根)

優勝者の木村選手は連覇、11月3日に日本武道館で開催の本大会に出場した。

第52回全日本女子剣道選手権大会

9月8日(日) 兵庫県立武道館
 ☆相場ののぶ(燕) 六段・6回
 1回戦 池田(兵庫)
 ☆高橋 愛子(県警) 四段・3回
 1回戦 村山(埼玉)
 いずれも延長戦で接戦の上、惜敗した。

第8回全日本都道府県対抗少年剣道大会

9月15日(日) 大阪市
 中学生の部
 監督 西村 友寿(西川中)
 選手

- 先鋒 小川梨々香(燕 中)
- 次鋒 小中 秋乃(小針中)
- 中堅 相場 凌(小池中)
- 副将 樋浦 雄也(小池中)
- 大将 小崎 悠貴(本丸中)

※先鋒・次鋒は女子、中堅・副将・大将は男子で、女子は県大会の個人戦1位2位、男子は同1位3位の選手で構成。

予選リーグ

新潟0 | 2 兵庫
 新潟1 | 0 熊本

※新潟は一勝一敗で決勝トーナメント進出ならず。

【監督観戦記】

新潟は兵庫・熊本といった強豪校と同ブロックに入り、熱戦を展開しました。

初戦の兵庫戦では、先鋒が攻めつけて惜しい技が何本もありましたが、引き分けで流れをつかみきれませんでした。次鋒、副将戦も接戦でしたが、一瞬の隙をつかれ残念な敗戦でした。次戦は、今夏の全中を制した熊本県代表が相手でした。先鋒から激しい攻防戦が続きましたが、惜しくも引き分け。迎えた副将戦は、体格で勝る相手に一歩も引かず、攻め勝って相面を決めると、二本目は見事な出端小手を決めて勝利し、1勝リードで大将戦となりましたが、引き分けに持ち込み強豪相手に堂々と戦い、一矢を報いました。

結果的には決勝トーナメントに進むことができませんでしたが、今回出場した下級生2名が来年の大会では上位進出の原動力となってくれるものと期待しております。

県剣道連を始め、ご支援ご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

報告 西村 友寿

小学生の部

監督 内野 葉子 (新潟市)
選手 坂詰 遥聖 (上越市上下浜小)

次鋒 辰口 萌子 (長岡市希望ヶ丘小)

中堅 神代 竜汰 (三条市月岡小)

副将 中村 美空 (新潟市坂井輪小)

大将 長谷川 硯亮 (三条市保内小)

予選リーグ

新潟 1 - 1 大分 (本数3対4で負け)

新潟0 - 4 京都 (本数3対4で負け)

※決勝トーナメント進出ならず。

【監督観戦記】

新潟県から2回目の出場となった本大会には、県内各地から厳しい予選を勝ち抜いた選手が参加しました。

予選リーグでは、大分、京都と対戦し、初戦の大分には1対1の本数の本数差で惜敗。次こそはと臨んだ京都戦でしたが、0対4で敗退しました。

大会では残念な結果に終わりましたが、前日の練習試合では今大会準優勝の秋田に勝利するなど技術力の高さを証明してくれました。

また、今回も本大会には多くの女子選手が出場し、剣道の未来を担う女子剣士の生涯剣道の一助となればと閉会式において大阪府下の有力女子選手と剣を交えるという新たな試みがなされ

ました。

本県の出場選手には貴重な体験を生かして今後の活躍に期待します。最後に、本大会への出場までの間、予選会、強化練習等、県道場連盟の先生方をはじめ各地区連盟には多大なご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

報告 内野 葉子

第56回全会津・新潟親善剣道大会

9月16日(月・祝日)

新潟市北地区スポーツセンター

★勝者数法戦(21人対抗戦)

優勝 新潟軍 新潟軍10 - 4 会津軍

★勝技法戦

団体の部 優勝 新潟軍

個人の部

優勝 藤田 淳 (新潟市) 5人抜き

2位 赤塚 洋紀 (県警) 2人抜き

3位 小椋 幸樹 (会津) 2人抜き

第61回新潟県剣道大会

9月29日(日) 小千谷市総合体育館

団体戦

35歳1日以上の部

優勝 上越市剣道連盟

準優勝 三島剣道連盟

3位 栃尾剣道連盟

新潟市剣道連盟

35歳以下の部

優勝 新潟市剣道連盟

準優勝 新潟県警察剣道連盟

3位 上越市剣道連盟

白根剣道連盟

高校男子の部

優勝 新潟市剣道連盟

準優勝 中之島剣道会

3位 浦川原剣道連盟

燕剣道連盟

高校女子の部

優勝 三島剣道連盟

準優勝 新潟市剣道連盟

3位 小千谷剣道会

一般女子の部

優勝 上越市剣道連盟

準優勝 新潟市剣道連盟

3位 中之島剣道会

栃尾剣道連盟

個人戦

60歳以上の部

優勝 高橋 守 (上越市)

準優勝 八木 和徳 (新潟市)

3位 齋藤 博司 (新発田)

50歳代の部

優勝 樋口 秀夫 (十日町)

準優勝 原田 信 (妙高)

3位 川崎 剛 (浦川原)

荻莊 則幸 (亀田)

40歳代の部

優勝 宮田 和寛 (上越市)

準優勝 風間 祐輔 (小須戸)

3位 三河 隆 (三島)

藤塚 衛 (新潟市)

30歳代の部

優勝 松村 暁広 (新潟市)

準優勝 野木竜太郎 (五泉市)

3位 地濃 文央 (五泉市)

佐藤 成亮 (栃尾)

20歳代の部

優勝 小林 芳和 (県警)

準優勝 木村 友哉 (新潟市)

3位 八子 尚也 (三島)

市村 学 (上越市)

10歳代の部

優勝 岩倉仙太郎 (新潟市)

準優勝 山田 洋睦 (五泉市)

3位 吉原 蒼生 (上越市)

笠原 光平 (小千谷)

一般女子の部

優勝 清水 里奈 (県警)

準優勝 石井かおる (新潟市)

3位 清水 慶子 (魚沼市)

山北 美樹 (中之島)

高校女子の部

優勝 眞藤 碧 (新潟市)

準優勝 五十嵐倭子 (新津)

3位 阿部 杏弥 (三島)

高橋 侑奈 (小千谷)

総合優勝 上越市剣道連盟

新潟市剣道連盟

※総合得点同数により両連盟優勝

第34回北信越国民体育大会

8月25日(日) 新潟市体育館

【成年女子】

- 新潟 2対1 長野
- 新潟 3対0 福井
- 新潟 3対0 富山
- 新潟 0対3 石川リーグ
- ①新潟3勝1敗 ②福井3勝1敗
- ③石川2勝2敗 ④長野2勝2敗
- ⑤富山4敗
- (1、2位と3、4位は勝者数などによる)

※新潟が本国体出場

【少年男子】

- 新潟 4対1 長野
- 新潟 3対2 富山
- 新潟 3対2 石川
- 新潟 4対1 福井リーグ
- ①新潟4勝 ②石川3勝1敗
- ③富山2勝2敗 ④長野1勝3敗
- ⑤福井0勝4敗

※新潟が本国体出場

【少年女子】

- 新潟 5対0 富山
- 新潟 5対0 長野
- 新潟 5対0 福井
- 新潟 5対0 石川リーグ
- ①新潟5勝 ②石川3勝1敗
- ③富山2勝2敗 ④長野1勝3敗

⑤福井4敗

第68回国民体育大会剣道競技

9月29日(日)~10月1日(火)

東京武道館

【成年男子】

- 監督 加藤 治(学校)
- 先鋒 吉田 新(白根)
- 次鋒 廣瀬 欽一(県警)
- 中堅 磯 泰介(県警)
- 副将 吉田 仁(新潟市)
- 大将 加藤 治(学校)
- 1回戦 新潟0 - 4 埼玉
- 吉田④メ - メコ④足立
- 廣瀬⑥メ - メド⑥嶋田
- 磯⑥メ - ツメ⑦米屋
- 吉田⑦メ - ツメ⑦米屋
- 加藤⑦メ - ツメ⑦米屋
- 数字は段位

【成年女子】

- 監督 町田 朋子(新潟市)
- 先鋒 宮路奈津子(燕)
- 中堅 相場しのぶ(燕)
- 大将 町田 朋子(新潟市)
- 1回戦 新潟0 - 2 鹿児島
- 宮路④メ - メメ③和田
- 相場⑥メ - メメ⑤西香
- 町田⑥メ - ツメ⑥西晴

【少年男子】

- 監督 藤澤 裕二(五泉高教)
- 先鋒 井上謙二郎(新潟第一)
- 次鋒 菊崎 将史(新潟商)

中堅 熊倉 茂喜(新潟明訓)

副将 新飯田悠太(新潟明訓)

大将 江口 脩哉(新潟商)

1回戦 新潟3 - 1 茨城

○井 上②メ - ②安井

○菊 崎②ド - ③納谷

○熊 倉②コ - ③横田

新飯田② - ②中根

江口② - ③宮本

準々決勝 新潟2 - 3 長崎

○井 上②ドド - メ②牧島

○菊 崎②ドド - メ③久保

熊 倉②コ - メド③草野

新飯田② - ド③山崎

江口② - コ③上村

【少年女子】

- 監督 藤澤 裕二(五泉高教)
- 先鋒 河田 茜(新潟商)
- 次鋒 深口 佳奈(新潟商)
- 中堅 相田真奈美(新潟商)
- 副将 大塩 綾子(新潟商)
- 大将 熊谷 真純(新潟商)
- 1回戦 新潟3 - 1 山梨
- 河 田②メ - ③望月
- 相 田②メ - ③深沢
- 深 口② - メ③望月
- 大 塩②メメ - ド③前田
- 熊 谷②ド - メ③中島
- 準々決勝 新潟3 - 2 福岡
- 河 田② - メ②佐々木
- 相 田②メ - ③松本
- 深 口②メ - ③河原
- 大 塩② - メメ③糸山
- 熊 谷②ドコ - メ③大西

準決勝 新潟2 - 3 埼玉

○河 田②ドド - コ③駒林

相 田② - メ③岡崎

深 口② - メド③辻本

○大 塩②メ - ③尾関

熊 谷② - メ③端

三位決定戦 新潟3 - 2 東京

○河 田②メ - ③森

○相 田②メメ - メ③矢田貝

深 口② - ド③佐藤

大 塩②コ - コメ③清水

○熊 谷③メド - ③坂田

【東京国体関係総括観戦記】

少年女子3位・少年男子5位と、高校生の頑張りで天皇杯(男女総合)5位・皇后杯(女子総合)4位という昨年以上の成果を挙げることができました。選手は勿論、強化スタッフ・保護者・県剣道連盟会員の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。次第です。

本年度は北信越国体で、各種目別1位と成年男子を含め4種目全て本国体出場権を得ました。このことは新潟国体を除いて初めての偉業です。少年少女は予想通りと通りとは言え、一人も落とすことなく完全優勝、少年男子・少年女子は、接戦を制しての出場権獲得でした。特に、昨年と同じメンバーで捲土重来を期し、この一年間精進した成年女子には頭が下がる思いです。さて、本国体第1日目、チーム新潟丸となって臨んだ少年女子第1試合の山梨戦は、副将戦をものにして早々入賞を果たしました。しかし、目標は

昨年の3位入賞以上、気を許すことなく強豪福岡戦に臨みました。先鋒戦を落とすも次鋒・中堅と踏ん張り、大将熊谷が、一本先取されるも攻め入っての逆胴で取り返し、最後は延長7分、出小手で勝利を掴み取りました。執念を感じさせる試合でした。

準決勝進出を決めた少年女子の余韻が後押しする中、少年男子1回戦は強豪茨城戦を迎えました。先鋒井上は相手が間合いを詰めて来るところを逃がさず面、次鋒菊崎が鏢迫り合いから一瞬の隙を衝き引き胴、中堅熊倉が延長戦で出小手、ここで難なく入賞を決めてくれました。この結果を残せたのは、直前合宿で関東勢と練習試合を繰り返して、監督・コーチの分析に基づき、戦い方を徹底した勝利でした。

続く準々決勝、来年度体を控え強化



をしている長崎戦、相手得意の鏢迫り合いからの引き技をうまく封じながら、先鋒井上は中間で手元が上がることを引き胴、面を取り返されるも最後は、引き胴を決め先取。次鋒戦菊崎、面を先取されるも中間からの引き胴、延長戦開始直後に中間で手元が上がることを見逃さず、又も引き胴を決め手手。

中堅戦、相手上段から逆胴、面を決められ、副将戦に入る。副将新飯田、積極的に仕掛けるも決まらず延長戦に入り、鏢迫り合いから体を捌かれて引き胴を決められる。いよいよ勝負のかけた大将戦、江口が小手から面に渡って先行する。しかし、終了直前に引き面を決められ、最後は延長戦に入り鏢迫り合いから引いたところを詰められて小手を決められる。強豪相手の二試合でしたが、互角以上の戦いぶり山口国体に続いての5位入賞を果たしました。

少年男女入賞を確定し、成人女子の試合に入る。中堅・大将に全日本女子選手権者を擁する鹿児島戦、遠征・練習試合では取られることなかった引き面を3本取られ、大将戦を待たずして勝利が決しました。大将町田、臆することなく堂々の勝負で引き分け、立派な試合でした。

競技二日目、少年女子準決勝勝埼玉戦、先鋒河田、引き胴を先取したものの直後に小手を取り返され延長戦、最後は鏢迫り合いから体を捌いて引き胴を決めた。続く次鋒・中堅戦を落とし

ましたが、副将大塩が延長戦で鏢迫り合いから相手を崩して引き面を決め、大将戦に繋いでくれました。大将戦は時間内に勝負決せず延長戦。「延長始め！」と同時に両者、面に行くも相打ち、その後両者間合いを詰め、熊谷、面を読みながら出小手に行ったが相手の勢いに流れ、面を決められました。決勝進出を果たせず気落ちするところでしたが、気持ちを切らず開催地東京との3位決定戦に臨みました。臆することなく実力を発揮し、先鋒・次鋒・大将戦をものにして2年連続の3位入賞を果たしました。

少年男女・成年女子の表彰式後、いよいよ成年男子の開始。少年の頑張り続けと強豪埼玉に挑みました。先鋒吉田新、狙い通り中間から竹刀を捲いて面を先取る。その後、中間からの小手と引き面を決められる。次鋒廣瀬、中堅磗ともに先取されて取り返すも、勝ちを収めることができませんでした。しかし、磗選手が米屋選手に決めた、突きからの面は見事でした。副将吉田は引き分け、大将加藤、打ち気を読まれ2本負け、百戦錬磨の加治屋選手に完敗でした。

近年の中学校の活躍、高校生の3大会連続入賞と安定した力を発揮しています。

これを更に成年に繋げて行くには、副将・大将の選手層を厚くすることが課題です。40代、50代と稽古環境を整えることが難しい年代ですが、定期的な稽古会等の設定や予選会への積極的

な参加促進を図る必要性を感じております。一方、競技実績だけにこだわることなく、剣道の持つ文化性を指導者が認識することによって底辺の拡大と剣道人口の減少に歯止めをかけたいためです。世阿弥の言う「時の花」を咲かせつつ「真の花」「失わせぬ花」を追求したいものです。

強化委員長 加藤 治

第25回新潟県スポーツフェスティバル 壮年剣道大会

10月26日(土) 鳥屋野武道館
優勝 新潟県警察剣道連盟
準優勝 小千谷剣道会

3位 五泉市剣道連盟
3位 中条剣道連盟

※今回から次のように大会要項等が変更となりました。多数のご参加をお願いいたします。

- ①主催：新潟県・新潟市等行政機関
- ②主管：新潟県剣道連盟・会場管轄 剣道連盟
- ③選手構成等：50歳以上の選手で加盟団体対抗戦

第61回全日本剣道選手権大会

11月3日(日) 日本武道館
☆木村 友哉(新潟市)五段・二回目
1回戦 木村 友哉⑤ー①⑤金成 郁 (千葉)

※延長戦で惜敗した。

第36回BSN高等学校剣道大会兼・

全国高校選抜剣道大会一次予選会

11月16日(土)17日(日)

新潟市鳥屋野総合体育館

男子団体

優勝 新潟商業高校 (5連覇)

準優勝 新潟第一高校

3位 東京学館新潟高校

5位 三条高校

新潟工業高校

高田北城高校

帝京長岡高校

新潟商業高校 (5連覇)

優勝 新潟第一高校

3位 分水高校

東京学館新潟高校

5位 新潟中央高校

6位 三条高校

新潟明訓高校

帝京長岡高校

※上位8校は、来年3月の全国高校選抜大会出場権を懸けて、1月13日(日)に鳥屋野総合体育館で開催の二次予選会に出場。

男子個人

優勝 菊崎 将史 (新潟商業)

準優勝 樋浦 健 (東京学館)

3位 竹野太唯樹 (東京学館)

松本 諒 (新潟第一)

女子個人

優勝 河田 茜 (新潟商業)

準優勝 大野由美子 (新潟商業)

3位 植木はかり (新潟商業)

近藤 瑞紀 (新潟商業)

※男子個人優勝者は、次年度の全日本都道府県対抗優勝大会の先鋒に確定。同女子の先鋒は、次年度の高校総体個人優勝者となる。

第53回新潟県実業団剣道大会

11月23日(木) 鳥屋野総合体育館

団体戦一部

優勝 日通商事新潟支店B

準優勝 JR東日本新潟支店A

3位 新潟総合警備保障(株)A

日通商事新潟支店B

団体戦二部

優勝 日産プリンス新潟販売

準優勝 (株)第四銀行

3位 セコム上信越

カナタツワン

武道工房正行

団体戦三部

優勝 志学館道場

準優勝 五泉市剣道連盟

3位 直心館金田道場

万代長嶺剣道教室

団体戦女子の部

優勝 パナソニック

準優勝 西蒲剣道連盟

3位 JR東日本新潟支社

新潟総合警備保障

個人戦10・20代

優勝 猪田 達也 (謙信堂武道具)

準優勝 渡辺 祐輔 (渡辺歯科医院)

3位 八子 圭介 (東京ロストワックス)

姉崎 貴大 (東京ロストワックス)

(東京ロストワックス)

個人戦30代

優勝 山本 拓也 (パナソニック)

準優勝 梅木 健次 (JR東日本)

3位 本田 雄也 (原 信)

川嶋 一也 (万代長嶺教室)

個人戦40代

優勝 風間 祐輔 (藤田金属)

準優勝 丸山 勝也 (三菱ガス化学)

3位 町田 一越 (日産プリンス新潟)

神田 和則 (神田ストア)

個人戦50代以上

優勝 高橋 栄一 (高橋整形外科医院)

準優勝 荻荘 則幸 (ゆきよしクリニック)

3位 小柴 智 (原 信)

佐藤 治彦 (河治屋)

女子個人戦

優勝 齊藤 幸奈 (JR東日本)

準優勝 村山まみこ (パナソニック)

3位 千原 真澄 (原 信)

齊藤 幸奈 (JR東日本)

第22回新潟県中学校選抜剣道大会

11月24日(西川体育館)

男子団体戦

優勝 小池中学校

準優勝 小針中学校

3位 白根第一中学校

中之島中学校

女子団体戦

優勝 燕中学校

準優勝 下田中学校

3位 中之島中学校

小針中学校

☆県合同稽古会の報告

全剣連主催北信越合同稽古会兼

9月7日(土) 14時～16時 県合同稽古会

上越市カルチャーセンター

指導陣：山本 重美(富山)

末平 佑二(石川)

山下 和廣(石川)

佐藤 伸(新潟市)

渡邊 幹雄(県警)

山田 義雄(燕)

参加者：68名

県内外から剣道愛好家が多数参加

し、回り稽古や元立ち稽古で充実した汗を流しました。

県合同稽古会中越会場

11月17日(日) 9時30分～11時30分

三条厚生会館

指導者：白井 吉満(長岡)

参加者：41名

☆称号昇段審査会結果報告

●剣道昇段審査会

8月4日(日) 上越市

初段 94名受審 合格94名

二段 73名受審 合格72名

三段 16名受審 合格11名

四段 10名受審 合格4名

五段 10名受審 合格5名

五段合格者

木村 友哉26(新潟市)

北浦 瞳30(上越)

堀川 賢41(上越)

本間 智英46(西蒲)

大淵 清徳49(十日町)

※審査長 白井 吉満

審査員 宮下 茂・久保田幸正

岡田 裕・田村 克也

高橋 直志

8月11日(日) 長岡市三島

初段 36名受審 合格36名

二段 27名受審 合格23名

三段 25名受審 合格14名

四段 8名受審 合格4名

※審査長 木原 眸

審査員 木原 眸・宮下 茂

田村 克也・西潟 敏夫

佐藤 好美

8月12日(日) 新潟市

初段 188名受審 合格185名

二段 138名受審 合格128名

三段 10名受審 合格7名

四段 7名受審 合格4名

※審査長 山田 義雄

審査員 藤井 紳一・堀 伊佐緒

山田 茂・大濱 克

望月 憲一・遠山 正宣

長谷川 敏・岡田 裕

廣川 和男

8月17日(土) 山形市

七段合格 清水 隆52(糸魚川)

渡邊 公夫64(新発田)

8月18日(日) 山形市

六段合格 宮田 大資30(上越市)

熊倉 陽介36(白根)

新井 伸洋42(新潟市)

木津 博文44(加茂)

八木 寿顕47(上越)

佐藤 伸一49(新発田)

9月8日(日) 県警察学校

初段 59名受審 合格59名

二段 26名受審 合格26名

三段 6名受審 合格6名

四段 6名受審 合格4名

※審査長 山田 義雄

審査員 久保田幸正・藤井 紳一

堀 伊佐緒・高橋 直志

長谷川 敏

11月3日(日) 佐渡市

初段 24名受審 合格24名

二段 8名受審 合格8名

三段 7名受審 合格4名

※審査長 木原 眸

審査員 望月 憲一・堀 伊佐緒

山田 茂・佐藤 好美

長谷川 敏

11月4日(日) 三条市

初段 42名受審 合格42名

二段 33名受審 合格33名

三段 7名受審 合格6名

四段 5名受審 合格3名

※審査長 白井 吉満

審査員 西潟 敏夫・田村 克也

宮下 茂・大濱 克

渡邊 希一

11月10日(日) 新潟市

初段 6名受審 合格6名

二段 19名受審 合格19名

三段 3名受審 合格3名

四段 3名受審 合格3名

※審査長 山田 義雄

審査員 久保田幸正・大濱 克

佐藤 好美・望月 憲一

遠山 正宣

11月17日(日) 愛知県

六段合格 原 健(上越市) 42

11月25日(日) 日本武道館

六段合格 高野 大輔(魚沼市) 36

作本 雅之(糸魚川) 41

笠原 竜義(糸魚川) 47

高木 秀昭(白根) 61

11月26日(火) 日本武道館

七段合格 渡邊 直司(長岡) 38

高橋 昇司(新潟市) 55

長谷川道郎(中之島) 56

●剣道称号審査会

11月26日(火) 東京

錬士号合格 永嶋 晃(警察) 40

菲澤 健太(栃尾) 41

大桃 勝頼(魚沼) 42

斎藤 欣也(三島) 54

立川 晨生(燕) 70

教士号合格 宮田 和寛(上越) 40

藤塚 衛(新潟市) 44

渋谷 伸一(新発田) 50

高橋 栄一(新潟市) 52

梅津 孝昭(警察) 54

藤田 豊(小千谷) 57

板垣 邦夫(新潟市) 64

小泉 一義(警察) 67

石川美奈子(五泉) 51

居合道部会

第52回新潟県居合道大会

10月14日(日) 荒川総合体育館

【個別個人優勝試合】

○初段・段外の部

- 二段の部
 - 優勝 山崎 義広 (新潟)
 - 準優勝 近藤 豊子 (加茂)
 - 3位 筒井奈佳子 (新潟)
 - 田口 玲子 (上越)
 - 小山 昭彦 (豊栄)
 - 関山チイ子 (三条)
 - 岩野 昭治 (黒埼)
- 三段の部
 - 優勝 佐藤 衛 (光明館)
 - 準優勝 佐藤 壽世 (光明館)
 - 3位 細貝 文彦 (新潟)
 - 三井田富士夫 (柏崎)
 - 敢闘賞 莊司 善一 (十日町)
 - 長井 裕志 (新潟)
 - 吉野 慧志 (十日町)
 - 横田 紘光 (洗心館)
- 四段の部
 - 優勝 杉下 英倫 (光明館)
 - 準優勝 田川 翔太 (柏崎)
 - 3位 小俣 好広 (新潟)
 - 岡村 雅弘 (新潟)
 - 渡辺 康博 (新潟)
 - 小野田道子 (長岡)
 - 徳永美奈子 (光明館)
- 五段の部
 - 優勝 吉田 規子 (豊栄)
 - 準優勝 大西 恵 (柏崎)
 - 3位 目黒 康幸 (豊栄)

- 敢闘賞 栗原 啓幸 (豊栄)
- 本間 豊美 (豊栄)
- 丸山 末栄 (豊栄)
- 高野 舞 (柏崎)
- 六段の部
 - 優勝 大西 伸和 (柏崎)
 - 準優勝 今井 恒之 (上越)
 - 3位 大津 美子 (新潟)
 - 川口 聡 (加茂)
 - 小野 義弘 (新発田)
 - 五十嵐前衛 (新発田)
 - 駒形 健 (豊栄)
 - 佐藤 忠夫 (新津)
- 二段の部
 - 奨励賞 國井 敏夫 (豊栄)
 - 松井 晋 (魚沼)
- 三段の部
 - 奨励賞 西須三三郎 (柏崎)
- 四段の部
 - 奨励賞 渡辺 康博 (新潟)
- 五段の部
 - 奨励賞 荒井 稔 (新潟)
 - 荒井 寛 (新潟)
 - 渡邊 吉男 (新潟)
- 六段の部
 - 奨励賞 竹川ゆり子 (加茂)
 - 岡田 裕 (柏崎)
- チーム対抗戦
 - 第1位 新潟「ネコまっしぐら」
 - 河内 晃人
 - 山崎 義広
 - 小俣 好広
 - 第2位 光明館「秋水」

- 山倉 孝
- 佐藤 壽世
- 上越「甘熟桃色吐息」
- 関山チイ子
- 田口 玲子
- 徳永美奈子
- 第3位
- ☆居合道称号審査会結果
 - 11月26日(火) 東京
 - 錬士合格 佐藤 忠夫 (新津) 69
 - 澤田 光利 (新津) 73
- ☆居合道昇段審査会結果
 - 11月16日(土) 東京
 - 六段合格 吉田 規子 38 (豊栄)
 - 目黒 康幸 41 (豊栄)
 - 大西 恵 55 (柏崎)
 - 丸山 末栄 59 (豊栄)
 - 荒井 稔 61 (新潟)

杖道部会

☆合宿合同稽古会の実施
 10月5日(土)・6日(日) 三条市

講師 原・上村五段
 受講者 会長以下14名
 二日間にわたって杖道の仕太刀、打太刀を交互に練成したほか、技量判定による段位別試合を実施して有意義な合宿を終了した。

☆昇段審査会結果

10月27日(土) 東京武道館
 四段合格 小黒 一巳 39 (長岡)
 蓮沼 裕之 57 (長岡)

今後の予定

☆県剣連主催行事予定
 (平成年3月末日まで)

定例理事会・臨時総会
 (主として財団設立関係)

12月22日(日) 新潟市

全国高校選抜剣道大会二次予選会
 1月13日(日) 新潟鳥屋野総合体育館

剣道昇段審査会(初段～五段)
 1月15日(日) 長岡・新発田

剣道昇段審査会(初段～四段)
 2月23日(日) 新津

全日本都道府県対抗剣道大会県予選会
 3月2日(日) 長岡市

国体予選会
 3月9日(日) 長岡市

剣道六・七・八段受審者講習会
 3月15日(土) 新潟市

県合同稽古会新潟会場
 3月16日(日) 新潟市体育館



地域通信



※小学校の昼休みに剣道実演

浦川原剣道連盟傘下の「浦川原修道館道場（西山知太郎館長）」は、6月19日に上越市浦川原区内の下保倉小学校（児童数107人）へ出向き、昼休み時間を利用して剣道の実演体験会を行った。

きっかけは、前記道場には小学生の会員数が最多時で30人いたものの、現在9人に減少した現状に危機感を持った西山館長が、剣道人口減少防止化対策として「入会を待っているだけではダメ。こちらから出て剣道をPRしないと。」と学校当局等に働きかけ始めて実現したものです。

当日は、全校児童のうち、希望者約80名が参加し、正座、蹲踞、竹刀の持ち方、素振り等を示範後、体験してもらった。

参加した児童からは「竹刀の持ち方はよく分からなかったけど、振ったら楽しかった。」等の感想を話すなど好評であった。

なお、同道場では29日にも同区内の小学校でも実施した。

（浦川原剣道連盟提供・7月9日付け上越タイムスから抜粋）



※わたしの主張五泉市・阿賀町地区大会における最優秀作品の紹介

五泉北中3年剣道部

風間 貴子

いきなりですが、皆さんは部活動が好きですか？ 私は、好きか嫌いかわからなかったら、「嫌い」と答えるでしょう。私は剣道部に所属しています。「部活動が嫌いなのになぜ入っているの？」と疑問に思う人もいると思います。

私が剣道部に入部した理由は、小学校の時から剣道をやっていたからです。しかし、剣道は夏の暑い中でも皮手袋をし、冬の寒い中でも裸足で練習し、汗をかいても防具は洗濯ができないので臭いがきついし、とても厳しいスポーツです。めんどろくさがり屋の私が続けられるか、不安なところもありました。

入部してから、私は剣道経験者ということで、1年生の時から試合に出させてもらい、初めての郡市大会でも入賞することができました。その時はとてもうれしかったですが、地区大会が終わって少したった頃から、「友達と遊びたいから」「疲れているから」といった気持ちに負けてしまい、部活の練習を休みがちになってしまいました。そして、1年生の春休み前に、体の具合が悪くなり、入院することになってしまいました。さらに退院してからも、「1ヶ月ぐらいいは激しい運動をしてはいけない」と、お医者さんに

言われてしまったのです。

2年生になって体調も戻り、再び部活に参加できるようになりました。しかし、2ヶ月間全く練習をしていなかったため、体力的にきつく、練習についていけませんでした。そして、「ああ、1年生の時にしっかりと練習していればこんなにつらくなかったのかも...」と何回も思いました。

2年生の時の郡市大会は、何とか入賞し、下越大会に進むことができました。あと、1回勝てば県大会出場というところで負けてしまったのです。その時はとても悔しい気持ちでいっぱいでした。また、後悔もありました。そして、この大会の悔しさをバネにして強くなりたい！という思いがわき起こり、私の心の中で強い気持ちが燃え上がりました。それから後、私は部活の練習で頑張ることはもちろん、家でも素振りをするようになりました。

3年生になった、燕中学校で行われた練成会に参加した時のことです。燕中学校の女子剣道部は、全国大会で3年連続優勝を果たしている強豪校です。しかし、相手を打つ速さや体力的な面では、北中学校とそれほど変わらないように感じました。

では、なぜ燕中学校は全国制覇をできたのか。その疑問は、その会場で明らかになりました。それは、会場で貼ってあった『戒めの言葉』にあったのです。

そこに書いてあったのは「髪の毛を伸ばしてはいけない」「お菓子や炭酸

飲料を摂ってはいけない」「携帯電話を持ってはいけない」「ゲームセンターにいかない」「男の子とつきあってはいけない」など、およそ剣道とは無関係のないことばかりでした。それも先生が書いたものではなく、自分たちで決めて書いたものようでした。

私は、それを見て、はっと気がついたのです。剣道に直接関係のない生活面がしっかりしているから、燕中学校にはこの強さが生まれるのだと。1つのことを成し遂げるには、自分自身に厳しくし、生き方そのものをコントロールしなければならぬのだと。このことから私は日頃の生活をもう一度振り返りたいと思います。

私の目標は、『声を大きく出す』『礼儀正しくする』というものです。剣道は技を正確に決めればよいだけではありません。剣道を通して、礼儀を学ぶところでもあるのです。

今、私は、2年前には考えられないような自分がいると思っています。1つの大きな目標に向かって真剣に取り組む自分です。努力したら、その先には必ず良い結果が待っていると信じられる自分です。私に与えられた時間を大切にして、何事にも一生懸命努力していきたいと思っています。

【注】風間さんは、9月23日に開催された県大会で見事「奨励賞」を受賞しました。

五泉市剣道連盟提供

（8月5日五泉市で開催

・五泉市民新聞掲載）

☆あとながき

☆平成25年度の全国規模剣道大会は、昨年に引き続き本県選手の国体を始め各種大会での活躍は見事であり、各方面から賛辞が寄せられております。

大会に出場するためには「勝利・優勝」を最優先として掲げ、努力します。しかし、小学生から試合・勝負にこだわりすぎ、「燃え尽き症候群」にならないことを念じております。

☆次に、北信越国体本県開催の裏話、「嘆かわしい電話」について触れてみたいと思います。

北信越国体は、毎年5県持ち回りで開催しています。成年男子を除き、僅か一枚の本国体切符を得るために、各県が異常なまでに大会前から加熱している実態を再認識しました。

この大会の企画・運営は、県体協との連携、県高体連剣道専門部並びに新潟市剣道連盟のご協力を得ながら行いましたが、どうにか大会間近までこぎつけたところ、県連事務局へ某県剣道連盟役員から「少年監督からの申し入れによると選手宿舎は、大会会場から遠くて…！ 差別でないか！」等々、新潟県が意図的に他県の選手のコンディションを悪くして勝利させるのではないかと取れる苦情？電話がありました。

私は一瞬、耳を疑いつつ「宿舎は会場に近く、交通の便や食事面から、新潟市内の中でも一番高級で羨ましく

らしい所です。宿舎の割り当ては県体協が旅行会社に委託して公平に対応しています。」と説明。宿舎の手配で感謝されることこそあれ、文句を言われるとは…。加熱する大会と、指導者の武道精神の無さに憂いを覚えまして。

主催者(当事者)は、身内より相手を選ぶ。それが当然の「おもてなし」では？ 昨今の過剰な勝利至上指導の一端を垣間見たような出来事でした。

ともあれ、当県指導者は、他県への試合や遠征等で「常識ある言動」で対応していると信じています。

☆次にオリンピックと剣道の関係について感じたことについて述べてみたいと思います。

この度、7年後に東京でオリンピックが開催されることが決定し、大きな話題となっております。

いつもオリンピック開催時期になると剣道競技が世界の競技人口等から、柔道同様に既種目になっていてもおかしくないと思う方が大多数だと思います。

しかし、「オリンピック種目となつて、得るメリット以上に失うデメリットの方が大きい」と、全剣連はもとより、既種目になっている一部柔道関係者が申しております。

国の威信と個人の人生を賭けて勝つことだけに傾注するため、駆け引き争いの試合が横行し、他競技のように

スポーツ化しすぎて「武士道魂」が失われると憂慮されるからだと思います。

オリンピック種目とならないのは、良くも悪くも剣道独特の「有効打突」の意義や、所作が脈々と受け継がれて、各国でも年々「侍・武士道」として認知・普及している証だと思います。

まさに前記欄「わたしの主張」で『剣道は、ただ技を正確に決めればよいだけではありません』と中学生剣士の風間貴子さんが堂々と述べられたとおりであります。

しかし、剣道人口の減少化対策に頭を悩ます私共にとって、露出度の高いオリンピックは脅威に間違いありません。

その一方、剣道人口の減少化・増加対策として前記、「地域通信欄」掲載のように各地域で工夫を凝らし、懸命にご努力されておられる先生方に頭の下がる思いであります。

☆最後に、「わたしの主張・五泉北中学校風間貴子さん」の文面は、剣道から「何か？」を学びとる感性と表現力は「素晴らしい」の一言であり、感激しました。これからも「文武両道」頑張つてほしいと思います。また、その自主性等を育んだ保護者並びに指導者に敬意と感謝を申し上げます。
嬉しい話題提供ありがとうございます。
(本間理事長記)

編集後記

今号は、県剣連の選手派遣全国大会及び県内の主催・共催大会と一部後援大会の県実業団体大会(参加選手対象・規模等により従前から掲載)結果が集中しました。

今後、各地区開催の数多い後援大会を含めて一律に掲載すると「大会結果の会報」になりかねないため、「地域通信」や会員からの手記等を毎回掲載するなど、次号から検討したいと思えます。

なお、後援大会以上の結果は「県剣連ホームページ」へ、資料提供を基に速報・掲載しております。

ご意見・ご要望をお待ちしております。

次回発行は、4月上旬の予定です。

訂正

前号会報92号で、「平成25年度役員」に副会長 中村 正紀氏(西蒲)の記載漏れミスがありました。

中村副会長を始め、皆様にご心からお詫び申し上げます。

